

令和4年3月号

うつみ進学塾

# 東雲(しののめ)

vol.36(276)

異様に寒かった2月が終わり、いよいよ今学年の総まとめとなる3月を迎えます。最近4年間は「暖冬」で、今年は久しぶりの「寒冬(かんとう)」とのことです。この「寒冬」という言葉自体をわたしは聞いたことがありませんでしたが、考えてみれば「暖冬」の反対語になるわけだから、「そら、あるわな…」という気がしました。地球温暖化がずっと言われている中で「冬が例年以上に寒くなった…」と言われると、地球温暖化がSTOPしたのか？と、言う気もしますが、そんな喜ばしい状況でも内容で地球温暖化の問題はまだまだ注目していく必要があるようです。いずれにしても、3月になるときちんと暖かくなってきます。すると、花粉症の人にはつらい季節がやって来ます。私は幸い、これまで花粉症には縁がありませんでしたが、花粉症の人、特にこれから受験を迎える人は、薬を飲むなどの毎日のケアはしっかりと忘れないようにしてください。



最近、テレビなどから入ってくる嫌でも目に留まるニュースといえば、ロシアとウクライナの問題。「なんであんなことになってるの？」と、塾でも何人かの子どもに尋ねられました。私たち日本人にとって、ウクライナは「遠い国」の感じがしますが、ロシアは海を挟んでいますが「となりの国」。その「となりの国」のロシアにとって「仲良し」だと思っていた自らの隣国(ウクライナ)が「アメリカさんと仲良くしたい…」と言ったのを聞いて、「許せない！！」と、攻撃を始めた…と言うのが、私たち日本人の側から見えている光景でしょうか？ もちろん、ロシア側からは違った光景が見えているのかもしれませんが…

かなり大胆な話にはなりますが、誤解を恐れずに言ってしまうと…日本とロシアの間にある「北方領土」自体が、アメリカと仲良しである「日本」の所に行きたいと言ってロシアの怒りを買ってしまった…のと、同じかもしれません。もちろん、現時点で言えば「起こりえない話」と言ってしまうと良いとは思いますが。しかし、平和に慣れ切ってしまった私たちが「平和」や「命の尊さ」について、きちんと考えなければならない時期に来ているのかもしれない。

さあ、2021年度最後の一ヶ月となりました。年明けから続いてきました、みんなの学年末試験が終了し、入学試験もようやくゴールが見えるところになってきました。今年もトリを飾るのは毎年、公立高校入試を目指す中三生となります。来年度からは公立高校の入学試験制度の変更で中三生が最後になるわけではないようですが…来年度から変更される入試制度に関しては来月のお手紙から詳しくお知らせします。まずは、今年度の入試について。先日、今年度の各公立高校の志願者数の発表があり、倍率が判明いたしました。この手紙の

中に各高校の志望者数と倍率をまとめた表を入れてありますので、気になる人は確認しておいてください。全ての高校について掲載しているわけではありませんので、表に書かれていない気になる高校があれば、別途尋ねてください。それぞれ自分の志望する高校の倍率が気になるのは当然のことではありますが、単純に昨年の数字との比較だけで一喜一憂しないように！ みんな、自分の持てる実力が発揮できれば大丈夫なのですから。それよりも残された少ない日をしっかり過ごすことを心掛けてください。

発表された倍率の数字は、実際の倍率よりも高い数字です。実際は、第二志望を志望している人が第一志望の高校に合格した場合、第二志望の高校は受験をしていない扱いになりますから総志望者数が減るということになります。したがって、第二志望者数が多い高校ほど実質の倍率は下がるということになります。だからといって安心して羽を伸ばしてもいいというわけではありませんので、勘違いはしないように!! どちらにしても、最後まで気を抜かないように。

こうして少しずつ新年度への準備が進んでいます。もうすぐ始まる春休み。塾では春期講習を今年も、もちろん行います。新学年に向けた予習をやるもよし、今年一年間の総復習でも構いません。できれば、いいスタートができるように予習をしながら、つまづいた所の復習をしていく、という形がおすすめです。この時期だからこそその学習に取り組んでほしいと思っています。案内を中に入れてますのでよろしくお願いします。

新学期にむけて、塾はどんどん新入塾生を募集しています。お友達やお知り合いの人を連れてきてくれた人には、千円分の図書カードをお渡ししますキャンペーン(笑)は続いていますので、心当たりのある人は是非誘ってあげてください。

